



昨年11月26日に、福岡三越での富川秋子さまの個展へ、今年2月18日は、大丸福岡天神店での大野佳典さまの個展へお邪魔してきました。

富川さまの会場には、釉薬の淡い青と素地の地肌の白で組み合わされた作品がたくさん。氷や雪、花などの自然が生み出す透明感を表現されているとのことで、-透と磁-のタイトル通り、青のグラデーションと白のコントラストに、垂れた釉薬の緊張感が合わさり、とても美しい作品ばかりでした。



富川さま

富川秋子さまの作品



THE 70th JAPAN TRADITIONAL ART EXHIBITION
日本伝統工芸展
2024年2月9日(水)~12日(土)・祝前休日
福岡市美術館
大丸福岡天神店
MITSUKOSHI
主催: 福岡市美術館
後援: 福岡県
協賛: 大丸松坂屋百貨店
開催期間: 2月9日(水)~12日(土)・祝前休日
開催時間: 10時~18時
料金: 入場料無料

粘土をご購入いただいているお客様の入選作品だけでなく漆や染織など他の工芸にも圧倒されました。このような、わが国のすばらしい技術が、これからも発展していくことを望むとともに、私自身も精進しなければならないと痛感しました。

個展に伺いました♪

大野さまの会場には、新シリーズが加わった作陶20周年を記念しての作品がずらり。白く流れるようなラインのものや安心感のある優しい形状のもの、それだけでも映えるし、花を活ければ主役を引き立てる作品群。それがわかる綺麗な展示がなされていました。

当社の粘土が、さまざまな形の作品となって表現されるのは、この上なく嬉しいことです。引き続き個展のご案内など是非ともお知らせください。



渕野直幸

大野佳典さまの作品



2月10日、福岡三越での日本伝統工芸展福岡展を見てきました。前日の9日には、総裁を務められる秋篠宮家の佳子さまのご鑑賞が報道されたこともあり、たくさんの方が来場されました。

第70回 日本伝統工芸展



デザイナー友永が行く！

神社巡りにハマリそうな 2024 年

こんにちは！「ジキよまんば！」を制作している友永です ^^\n2024 年も 2 ヶ月が過ぎ、その早さに驚いています @@; 先日、家族でドライブがてら「太宰府天満宮（福岡県太宰府市）」に久しぶりにお参りに行ったとき、改めて神社の魅力を感じることができました。

そこで今回、渕野陶磁器原料さんでの打ち合わせの帰りに、日本三大稻荷の一つ「祐徳稻荷神社（佐賀県鹿島市）」にお参りに行ってきました。

「祐徳稻荷神社」は朱塗りの社殿が豪華で美しいのも特徴の一つ。とても印象に残ります！\nこの日は天気も良く、すごく映えていました（笑）。

本殿が山の斜面にあるため、参拝するときには階段を登ります。それほど段数は多くないのですが、やっぱり年配や足の不自由な方にはツライ…。ということで、なんとエレベーターが境内にあるんです！ エレベーターも、神社と馴染むように素敵な装いをしています☆有料ではありますが、誰でも利用できるので、次回参拝に行ったときには乗ってみようかな♪

奥の院は、その名の通り、本殿の奥の急な斜面を登りまくった場所にあり、プチ登山が楽しめます。頂上に着く頃には息切れが激しく、足もフルフル震えていて日頃の運動不足を痛感。しかし、山頂からの眺めは最高でした（☆。☆）。

気づけば今年に入ってからすでに 3 社巡っています。1 月には「赤間神宮（山口県下関市）」へ初詣。ここも水天門と言われる竜宮城をイメージした門から海を見下ろせる景色が最高に美しい！

お参りするときの私の願いはいつも決まって「世界平和」です（笑）。参拝してみると、神社の建造物、立地はそれぞれとても個性的で興味深いので、しばらく神社巡りにハマリそうです♪ 友永 真麗

太宰府天満宮の御本殿は“令和の大改修”に伴い、特別な「仮殿」が建てられています



有限会社 渕野陶磁器原料

〒849-1426

佐賀県嬉野市塩田町大字五町田乙 287-1

TEL 0954-66-4207 / FAX 0954-66-3747 / E-mail info@fromform.jp

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要なない方は、たいへんお手数ですがその旨を上記までご連絡ください。

エレベーター



佐賀のパワースポット
祐徳稻荷神社

天草陶石に関する講演会と採掘現場の視察

2月 15 日・16 日の 2 日間、熊本県の天草へ行ってきました。目的は天草陶石についての講演会と鉱山の採掘現場の視察です。



この講演会は天草陶石開発推進協議会主催で長年続いているものです。しかし最近は、新型コロナウイルス感染症の影響でしばらく中止となっていました。今回、実に 5 年ぶりの開催となりました。

佐賀県・長崎県・熊本県の関係者 55 名が講演会に、翌日の採掘現場視察には 40 名が参加しました。私は有田ニューセラミックス研究会の一員として、研究会からは会長含め 6 名出席しました。

全体では初めての参加の方が多く、窯元・商社・公設機関のみなさんそれぞれの立場で、鉱山での採掘、維持管理の大変さを実感されたと思います。

原鉱・原石なくして粘土を作ることは出来ません。幸い天草陶石には枯渴の心配がありません。しかし、鉱量はあっても需要が停滞すれば継続は大変です。われわれも鉱山も、続けていけるようお互い努力していかなければなりません。

みなさまお一人お一人に粘土をお使いいただき、すごく助かっています。今後も引き続き、活発にご活動願います。



上田陶石選鉱場



上田陶石採掘現場



木山陶石脱鐵工場



木山陶石採掘現場

ニュースレターの送付停止はホームページから簡単にできますのでご利用ください。▶▶▶

渕野 陶磁器



<https://www.fromform.jp/>